

# 小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する アンケート

## アンケートご協力をお願い

人口減少・少子高齢化が加速度的に進行する中、住民に最も身近な自治体である市町村では、行政サービスを持続的に提供できる体制づくりが重要な課題となっています。

こうした課題に対して、ともに県西地域の中心的な役割を担う立場にある小田原市と南足柄市は、「行財政基盤強化策としての合併の検討」、「権能強化策としての大都市制度の活用（中核市移行）の検討」及び「中心市と周辺自治体との新たな広域連携体制の構築」について具体の協議を行うため、平成28年10月に「小田原市・南足柄市『中心市のあり方』に関する任意協議会」を設置し、将来の両市のあり方について検討を重ねています。

協議会では、本年9月ごろを目途に、両市が合併した場合に、まちづくりやサービスがどの様になるのか等について取りまとめ、市民の皆様へ合併について考えていただくための資料としてお示しする予定です。

このアンケートは、こうした両市の取り組みに対する市民の皆様の認識等を把握するために実施するものです。ご協力をお願いします。

平成29年4月

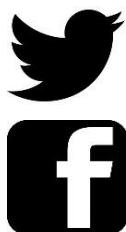
### ご回答にあたってのお願い

- このアンケートは、平成29年4月1日時点で小田原市・南足柄市に住民登録のある18歳以上の方から無作為に抽出した3,600人の方を対象に実施しています。
- アンケートにご記入いただく前に、同封のチラシをお読みください。
- アンケートは、必ず封筒の宛名となっている方がご回答ください。
- ご回答は、次ページ以降のアンケート調査票に直接記入してください。

### 返信方法について

同封の返信用封筒（切手不要）にこのアンケート用紙を入れ、5月1日（月）までに郵便ポストに投函してください。

※集計結果は公開しますが、個人が特定できる形で公表されることはありません。また、本アンケートでご記入いただいた個人情報は、本アンケートに関わる目的にのみ使用し、他の目的で使用することはありません。



小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する  
任意協議会事務局（小田原市企画部企画政策課内）  
電話：0465-33-1239

Email：2shikyogi@city.odawara.kanagawa.jp  
HP：http://www.odawara-minamiashigara.jp

# アンケート調査票

## 設 問

**問1** あなたご自身についてお伺いします。あてはまる番号に○印をつけてください。郵便番号については、空欄にご記入ください。

あなたの性別は	1 男性	2 女性	
あなたの年齢は	1 18～29歳	2 30～39歳	3 40～49歳
	4 50～59歳	5 60～69歳	6 70～79歳
	7 80歳以上		
あなたのお住まいの郵便番号は	〒 <input style="width: 20px; text-align: center;" type="text" value="2"/> <input style="width: 20px; text-align: center;" type="text" value="5"/> <input style="width: 20px; text-align: center;" type="text"/> - <input style="width: 20px; text-align: center;" type="text"/> <input style="width: 20px; text-align: center;" type="text"/> <input style="width: 20px; text-align: center;" type="text"/> <input style="width: 20px; text-align: center;" type="text"/>		
現在の市にお住まいになっての通算年数は	1 5年未満	2 5年以上～10年未満	
	3 10年以上～20年未満	4 20年以上～30年未満	
	5 30年以上		

**問2** あなたは、小田原市と南足柄市（以下、「両市」という。）が、平成28年10月に「小田原市・南足柄市「中心市のあり方」に関する任意協議会（以下、「任意協議会」という。）」を設置し、協議していることを知っていましたか。あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

- 1 「合併」について協議していることを知っていた
- 2 「中核市移行」について協議していることを知っていた
- 3 「広域連携」について協議していることを知っていた
- 4 何を協議しているかまでは知らなかった
- 5 協議していることをこのアンケートで初めて知った

**問3** 人口減少と少子高齢化が一層進む中で、両市では、行政改革に取り組んでもなお、現状の行政サービスを維持していくことは難しいと見込んでいますが、あなたは、両市の行政運営についてどの様に感じていますか。あなたの考えに近い番号1つに○印をつけてください。

- 1 両市ともに、今後もこれまでどおりの行政運営が可能であり、行政サービスの維持や拡充が可能である
- 2 小田原市は行政サービスの低下が避けられない
- 3 南足柄市は行政サービスの低下が避けられない
- 4 両市ともに行政サービスの低下が避けられない
- 5 わからない
- 6 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

1の選択肢を選んだ方は、**問5**に進んでください。  
 2～6の選択肢を選んだ方は、**問4**に進んでください。

問4 合併をした場合には、人件費などのコストの削減に取り組めますが、それでもなお、市民に対するサービス水準の見直しが必要な場合、あなたは、こういった取り組みが有効だと考えますか。あなたの考えに近い番号2つに○印をつけてください。

- 1 機能が重複する公共施設を統合や廃止する
- 2 効果の低い事業を休止や廃止する
- 3 使用料・手数料等を値上げする
- 4 新規事業を休止する
- 5 補助金・給付金等を減額や廃止する
- 6 わからない
- 7 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問5 中核市になった場合には、市は多くの事務を県に代わって実施することになり、市民にきめ細かなサービスを提供できるようになります。あなたは、市が今よりも幅広い事務を担うことをどの様に思いますか。あなたの考えに近い番号1つに○印をつけてください。

- 1 市の財政的な負担が増えたとしても、市民に身近な市の事務は幅広いほうがよい
- 2 市の財政的な負担が増えないのであれば、市民に身近な市の事務は幅広いほうがよい
- 3 市が今以上に多くの事務を担う必要はない
- 4 わからない
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問6 県西地域では各市町が安定的に行政サービスを提供できるよう、様々な分野で広域連携が進み、両市はその中心的な役割を担ってきました。人口減少等によって基礎自治体の行財政運営が厳しさを増していく中、今後、両市は周辺の町との広域連携にどの様に取り組むべきだと思いますか。あなたの考えに近い番号1つに○印をつけてください。

- 1 市の財政的な負担が増えるとしても、県西地域全体の行政サービスの安定的な提供に積極的な役割を果たすべき
- 2 市の財政的な負担が増えないのであれば、県西地域全体の行政サービスの安定的な提供に積極的な役割を果たすべき
- 3 県西地域内の連携は必要最小限にし、各市町がそれぞれ行政サービスの安定的な提供に責任を持って取り組むべき
- 4 わからない
- 5 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

裏面にも設問があります。

問7 任意協議会では、両市が仮に合併した場合の行政サービス水準などについて検討・協議を行っています。協議の終了後には、合併のメリット・デメリットなどをまとめた客観的な資料をもとに、それぞれの市が市民の皆様に十分な説明をした上で、合併についての意向を伺う予定です。その際に、あなたが合併について考える上で重要視する点は何ですか。あなたの考えに近い番号2つに○印をつけてください。

- 1 合併後の市の行政サービス水準
- 2 合併後の市の名称
- 3 合併による財政的な影響
- 4 合併後の市のまちづくりの方針
- 5 中核市への移行についての方針
- 6 広域連携のあり方についての方針
- 7 特にない
- 8 その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問8 最後に、将来の2市のあり方や任意協議会などに関するご意見、ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。


\*\*\*\*\* ご協力ありがとうございました \*\*\*\*\*

ご記入漏れがないかお確かめの上、同封の返信用封筒に入れて、5月1日（月）までに郵便ポストに投函してください。（切手は不要です）

両市での協議についての詳細は  
小田原市・南足柄市「中心のあり方」に関する任意協議会ホームページ (<http://www.odawara-minamiashigara.jp/>) で確認できます。  
是非、ご覧ください。